

豊1子育てひろば

8月16日(火)豊1子育てひろばが開催されました。とても暑い日でしたが木陰でビニールプールを広げて水遊びと、シャボン玉をして楽しい時間をすごしました♪



スタッフのお知らせ

8月より新しいスタッフに古田知子と渡邊陽子が変わりました。どうぞよろしくお祈りします

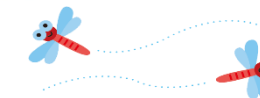


かもめつうしん



2022 9月号

夏休みの思い出



《お知らせ》

- 『7月1日(金)から平日(火~金曜日)に限り、自由来館を再開します。』
・ご利用は江東区民の方限定となります。
・週に何回でもご利用いただくことができます。
・土曜日は事前予約制となります。
◎利用時間(火~金曜日・土曜日とも)
午前の部 10時~12時 ・ 午後の部 14時~16時
◎利用方法
①平日(火~金曜日)事前予約不要で利用できます。利用時間内はご自由にお越しください。
定員なし。ただし、施設内混雑時やプログラム状況により利用をお断りする場合があります。
②土曜日 各時間20組~30組程度
前日の事前予約制とします。受付時間:利用希望日の前日の9時~16時
お電話にて。
定員数に空きがある場合のみ、当日予約も受け付けます。
・混雑時には、ポータルサイトの各みずべのページにてお知らせします。
※詳しくはホームページをご覧ください。(QRコードから読み取りができます)
◎その他
・初回利用時は登録を行いますので、保護者の方の区内在住の分かる身分証明書をご持参下さい。



豊洲みずべ QRコード

各種プログラムのインターネット参加申込みがスタート!

9月より、一部プログラムについて子育て情報ポータルサイト上で簡単に参加申し込み(※1)が行えるようになります。お手持ちのスマートフォンやパソコンよりぜひご利用ください。

- <ご利用方法>
① 子育て情報ポータルサイトにアクセスする。
② 各みずべの気になるイベントをクリックする。(※2)
③ イベント詳細ページの下部に表示される「参加申込み受付中」より申し込む。(※3)

- ※1 抽選制の場合、抽選申し込みとなります。
※2 各みずべのイベントは各みずべのトップページおよび子育て施設イベントよりご確認いただけます。
※3 初回申込み時に参加利用登録をする必要があります。

◎豊洲みずべの、ネット申込みのスタートは、10月以降予定です。

【ひととき保育の登録について】

- ひととき保育の利用登録は月曜日10時~16時(12時~13時・祝日は除く)
登録に電話予約が必要です。(前の週の金曜日です)
持ち物:母子手帳・保護者の身分証明書。お子さんと一緒に来て下さい。

江東区豊洲子ども家庭支援センター みずべ (江東区 指定管理者 社会福祉法人景行会)
〒135-0061 東京都江東区豊洲5-5-1-201 TEL 03-3536-7681 FAX 03-3536-7683
(相談専用 03-3536-7682)
E-mail toyosukosodate@ka.baynet.ne.jp URL http://koto-kosodate-portal.jp/mizube/

今年も猛暑の夏、しかも都心の猛暑日は観測史上、最多日数をさらに更新するという大変な夏でした。お母さん同士の会話でも「暑いよね、みずべに来るとほっとする。」「涼しい〜」といった声を耳にする日が続きました。初めての夏を迎える赤ちゃんのいるご家庭では、少しでも快適に過ごせるようにとあれこれ気を遣われたことでしょう。

この夏は先月号でもお知らせしたように江東ボランティアセンターから中学生のお姉さんが子ども達のお世話をするボランティアとして参加してくれました。『緊張したけれどお母さんが一緒に遊ぼう!と言ってくれて嬉しくて緊張がほぐれました』『初めて赤ちゃんを抱っこしたら、あったかくて意外と重かったです』との感想でした。ボランティア活動に参加したきっかけは、自分が赤ちゃんの時にお母さんと一緒に遊んだ場所を知りたかったとの思いからでした。成長する過程で、ふと過去を振り返りボランティアに関心を寄せてくれた場所が豊洲子ども家庭支援センターみずべであることを嬉しく思い、改めて子育ての地域の核であり続けたいと思いました。

さて、今回は夏休みの思い出ということで、みずべの職員からも過去を振り返ってもらい、夏休みの思い出を語ってもらいました。

(職員の夏の思い出 その1)

「お盆の時期になると、毎年、家族で父の実家(群馬県)に遊びに行きました。実家の近くには川が流れていて、朝から夕方まで川遊びをしました。その川で釣った魚をから揚げにしてもらいました。今でもその味は忘れられません!」(原口)

(職員の夏の思い出 その2)

「毎年、両親の故郷(鹿児島)に帰省し、祖母母宅で過ごしていました。海水浴を楽しみ、真っ黒に日焼けし、畑の野菜をもいで食べたり、砂山からジャンプしたりと遊び尽くしておりました。夜、かやの中で寝るのも楽しい思い出です。」(本間)

(職員の夏の思い出 その3)

「毎年、恒例のスイカ割り!伊豆白浜のビーチで親戚総出の大盛り上がりのイベントでした。目隠しされてぐるぐる回されて、さあスタート!残念ながらスイカを割った記憶はありませんが、ビーチで食べるスイカは本当に美味でした。」(桑名)

三回目のコロナ禍での夏休みそれぞれのご家庭では、どのように過ごされましたか?工夫をされてすごされた事とあります。遊びに来られた時に教えてください。お待ちしております。

センター長 佐藤典子